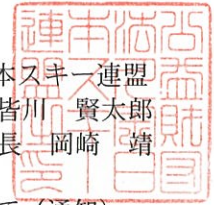


SAJ30 競第 111 号  
平成 29 年 9 月 20 日

加盟団体各位

公益財団法人 全日本スキー連盟  
競技本部長 皆川 賢太郎  
スノーボード部長 岡崎 靖



平成 30 年度 SAJ 公認スノーボード C 級コーチ養成講習・検定会及びの開催について（通知）

日頃よりスノースポーツの普及振興にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、標記事業について下記のとおり開催いたします。つきましては、申込者を取りまとめの上、平成 29 年 10 月 16 日（月）必着で SAJ 事務局あてに送付くださいますようお願い申し上げます。

記

- 会 期：集合講習 1（基礎理論・陸上実技）
- ① 講習全般  
平成 29 年 10 月 31 日（火）～11 月 2 日（木）  
※ 1～2 日目講習、3 日目午前試験
  - ② ジャッジング、ICR（HP、SBS 指導者）  
-->SAJ・FIS 公認スノーボード審判員研修会にて実施  
平成 29 年 11 月 4 日（土）～11 月 5 日（日）※ 予定
  - ③ コースセッティング、ICR（AL、SBX 指導者）  
-->SAJ 公認スノーボードセッター研修会にて実施  
平成 30 年 1～4 月のいずれかの 2 日間
- 集合講習 2（雪上実技）
- ④ 雪上トレーニング、マテリアル、指導実践  
平成 30 年 1～4 月のいずれかの 1 日間
- 会 場：①及び② 味の素ナショナルトレーニングセンター／国立スポーツ科学センター  
〒115-0056 東京都北区西が丘 3-15-1 TEL 03-5963-0203  
JR 赤羽駅よりバス約 10 分または都営三田線本蓮沼駅下車徒歩約 10 分
- ③及び④ スキー場にて開催（会場未定、後日受講者へ発表）
- 受 講 料：12,000 円  
※ SAJ・FIS 公認スノーボード審判員研修会／SAJ 公認スノーボードセッター研修会受講には別途 4,000 円（検定会受験の場合は 6,000 円）の受講料がかかります。（有資格者は免除）
- 受 講 資 格：次の各号に掲げる条件を満たし、所属加盟団体の推薦を受けた者。  
(1) 本連盟の登録会員であること  
(2) 受講年度の 4 月 1 日現在、20 歳であること
- 申 込 方 法：申込書を所属団体・加盟団体を通じ平成 29 年 10 月 16 日（月）SAJ 事務局必着でお申し込みください。
- 持 参 品：筆記用具。陸上実技は室内履き運動靴、運動のできる服装。  
雪上実技はスノーボード滑走用具。
- 同 封 書 類：公認スノーボードコーチ養成講習・検定会概要  
SAJ 公認スノーボード C 級コーチカリキュラム  
平成 30 年度 SAJ 公認 スノーボード C 級コーチ講習・検定会 スケジュール(予定)  
SAJ スノーボードコーチ養成講習・検定会申込書

以上

## 公認スノーボードコーチ養成講習・検定会 概要

### 1. 趣旨

SAJ 公認スノーボードコーチ養成講習・検定会は、平成 24 年 3 月 30 日に文部科学省から公示された「スポーツ基本計画」に基づく施策として、「国際競技力の向上に向けたスポーツ指導者の養成・確保及び指導者体系の構築」の実践事業として位置づけられている。本事業は、本連盟公認規程に基づき、スノーボードの競技者育成・強化のために、SAJ スノーボード部の強化方針、強化理念を理解、共有した、地域から中央のスノーボード指導者の養成事業である。

### 2. 目的

競技界の先達として自覚と誇りをもってスノーボードの「競技者育成プログラム」に従い、ジュニアの競技者発掘育成からトップレベルの競技者の育成と競技力向上活動を積極的に実践し、その発展に務めることのできるスノーボード指導者を養成する。

- ① スノーボードの普及・発展に貢献できる指導者の養成。
- ② スノーボード指導者の資質・指導力の向上。
- ③ 国際的に活躍できるスノーボードコーチの養成。

### 3. 主催 公益財団法人 全日本スキー連盟

### 4. 主管 公益財団法人 全日本スキー連盟 スノーボード部

### 5. 資格

公認コーチは、A 級、B 級、C 級の 3 種とする。

- ① 公認 A 級コーチは、国際レベル（ナショナルチーム）の競技者を指導の対象とする。
- ② 公認 B 級コーチは、全国レベル（本連盟強化育成）の競技者を指導の対象とする。
- ③ 公認 C 級コーチは、地域レベル（加盟団体強化育成）の競技者を指導の対象とする。

### 6. 受講資格

SAJ 登録会員の内、所属加盟団体の推薦を受け、下記の条件を満たした者。

- ① C 級コーチ受講者は、受講年度の 4 月 1 日現在満 20 歳以上の者
- ② B 級コーチ受講者は、C 級コーチ資格を取得し、本連盟が認めた者
- ③ A 級コーチ受講者は、B 級コーチ資格を取得し、本連盟が認めた者

B 級、A 級における本連盟が認めた者とは、原則以下の通りとする。

- ◎ 所属加盟団体の強化コーチまたは団体長が認める地域指導者の中で、直近 2 年間、SAJ の強化事業参加や指導選手の「B 級：SAJ 公認（全国レベル）／A 級：FIS 公認（国際レベル）」大会における成績など、指導活動の評価実績がある者

## 7. カリキュラムと実施方法

| 資格区分   | カリキュラム |  | 実施機関                |
|--------|--------|--|---------------------|
| C 級コーチ | 専門科目   | 20 時間以上  | SAJスノーボード部          |
| B 級コーチ | 共通科目   | 共通科目Ⅰ＋共通科目Ⅱ＋共通科目Ⅲ<br>152.5時間（集合講習40h、自宅学習112.5h）                 | 日本体育協会<br>（以下「日体協」） |
|        | 専門科目   | 60 時間以上  | SAJスノーボード部          |
| A 級コーチ | 共通科目   | 共通科目Ⅳ<br>40 時間（集合講習 40h）<br>※ B 級コーチ資格取得者は、共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲの<br>講習・試験免除 | 日本体育協会              |
|        | 専門科目   | 40 時間以上  | SAJスノーボード部          |

- ※ カリキュラムの科目詳細は別紙『SAJ 公認 スノーボード A・B・C 級コーチ カリキュラム』参照。
- ※ ハーフパイプ・スロープスタイル・ビッグエア種目の指導者はジャッジング、アルペン・クロスの指導者はコースセッティングのカリキュラムを受講する。また B 級・A 級は、ジャッジもしくはセッター資格の取得・登録を義務付ける。ただし、受検者年齢はそれぞれの規程（受検年の 1 月 1 日現在で、ジャッジ 23 歳以上、セッター 23 歳以上 50 歳以下）に準ずる。なお、既に資格を有する場合は当該カリキュラムの受講を免除とする。
- ※ JOC ナショナルコーチアカデミー及び JOC 国際人養成アカデミー修了者へは、A 級カリキュラムにおける一部科目の受講を免除とする。（ただし受講料の免除はなし）
- ※ 受講期限については、日体協が実施する共通科目、本連盟が実施する専門科目ともに受講年度から 4 年度内とする。

## 8. 費用

| 資格区分                      | C 級コーチ   | B 級コーチ                     | A 級コーチ                     |
|---------------------------|----------|----------------------------|----------------------------|
| 受講料／受講有効期限：申込年度含め 4 年間    | 12,000 円 | 共通 19,440 円<br>専門 10,800 円 | 共通 28,080 円<br>専門 17,280 円 |
| 資格公認料                     | 10,000 円 | 13,000 円                   | 13,000 円                   |
| 資格登録料／SAJ 会員登録時 1 年毎      | 1,000 円  | 1,000 円                    | 1,000 円                    |
| 資格更新料／資格有効期限：取得年度含まず 4 年間 | 5,000 円  | 15,000 円                   | 15,000 円                   |

- ※ 審判員・セッター講習会受講・検定会受検の場合は別途当該事業へ申し込みを行うこと。（参加料：研修会 4,000 円／検定会 6,000 円）
- ※ B 級・A 級の共通科目受講料は保有資格により一部免除があるため、日体協発行の『受講の手引き／共通科目免除概要および受講料』を参照のこと。
- ※ B 級・A 級資格更新料には日体協公認コーチ・上級コーチの費用を含む。資格取得者の資格更新料納入は個別で日体協へ行うこと。



## 9. 検定の合否（専門科目）

| 資格区分 | 合格正答率                | 総合正答率 60%以上の場合   |
|------|----------------------|------------------|
| C 級  | 筆記：各科目正答率 60%以上      | 不合格科目のレポートによる再判定 |
| B 級  | 筆記・口頭：各科目正答率 60%以上   | 不合格科目の次期検定会受検    |
| A 級  | 筆記・口頭・実技：総合正答率 60%以上 | —                |

※ 公認 B 級コーチ及び公認 A 級コーチの共通科目については、日体協の検定試験合格基準に準ずる。

## 10. 資格の更新

資格の有効期限は取得年を含まず 4 年間とする。資格取得者は、資格有効期限が切れる 6 か月前までに 2 回以上の資格更新研修を受講しなければならない。ただし、B 級コーチまたは A 級コーチ専門科目を受講中の場合は、所持資格を更新とする。

## 《参考》 SAJ スノーボード／コーチングスタッフストラクチャー

| レベル  | C                               |                        | B                             |  | A                  |  |
|------|---------------------------------|------------------------|-------------------------------|--|--------------------|--|
| 役職   | SAJ強化委員<br>加盟団体強化コーチ<br>(地域指導者) |                        | SAJコーチ(ジュニア・ユース担当)<br>SAJ強化委員 |  | SAJコーチ(ナショナルチーム担当) |  |
| 活動場所 | 地域レベル(加盟団体)                     |                        | 全国レベル(中央)                     |  | 国際レベル(世界)          |  |
| 指導対象 | 加盟団体強化選手<br>(地域競技者)             |                        | SAJ強化指定選手<br>Jr・Youth         |  | SAJ強化指定選手<br>A・B・C |  |
| 資格   | SAJ公認コーチ                        | SAJ公認スノーボードC級コーチ       | SAJ公認スノーボードB級コーチ              |  | SAJ公認スノーボードA級コーチ   |  |
|      | 日体協公認コーチ                        | —                      | 日体協公認コーチ                      |  | 日体協公認上級コーチ         |  |
|      | SAJ・FIS公認審判員                    | SAJ・FIS公認スノーボード審判員(任意) | SAJ・FIS公認スノーボード審判員            |  | SAJ・FIS公認スノーボード審判員 |  |
|      | SAJ公認セッター                       | SAJ公認スノーボードセッター(任意)    | SAJ公認スノーボードセッター               |  | SAJ公認スノーボードセッター    |  |

- ※ 競技役員資格において、ハーフパイプ・スロープスタイル・ビッグエア種目の指導者は SAJ・FIS 審判員、アルペン・クロス種目の指導者は SAJ セッターに該当する。
- ※ 本表は SAJ スノーボードのコーチングスタッフの活動に関する資格レベル例を示したもので、当該の役職は SAJ（及び C 級の一部は各加盟団体）が承認するものであり、各レベルの資格取得者の役職を保証するものではない。

以上

SAJ公認 スノーボードC級コーチ カリキュラム

| 区分                         | 科目名  | カリキュラム内容                               | 時間数                                |     |    |
|----------------------------|------|--|------------------------------------|-----|----|
|                            |      |  | 集合                                 | その他 | 計  |
| 1                          | 基礎理論 | ① SAJ-SB部の指導者養成システムについて、文化としてのスポーツ     | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ② 望ましい指導者とは                            | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      |  | ③ 一貫指導システムと競技者育成プログラムの理解           | 1   | 0  |
|                            |      | ④ 発育発達期における身体的特徴                       | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ⑤ 発育発達期の栄養                             | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ⑥ 発育発達期における心理的特徴                       | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ⑦ 発育発達期のトレーニング                         | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      |  | ⑧ 測定評価(フィールドテスト、フィジカル基準値)、トレーニング計画 | 1   | 0  |
|                            |      | ⑨ 発育発達期に多いケガや病気と対処法                    | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      |  | ⑩ 救急処置(心肺蘇生法、RICE、緊急時対応法)          | 1   | 0  |
|                            |      | ⑪ スポーツ活動と安全管理(個人的要因、環境的要因、競技特性)        | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ⑫ 目標設定法と指導計画の立て方(グループ、個人、期別)           | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ⑬ アンチ・ドーピング理念、禁止表、ドーピング防止規則違反          | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ⑭ ミーティングの方法                            | 1                                  | 0   | 1  |
|                            |      | ⑮ ICR(インターナショナルコンペティションルール)            | 1                                  | 0   | 1  |
| ⑯ ジャッジング/コースセッティング(雪上実技含む) | 10   |  | 0                                  | 10  |    |
| 計                          |      |  | 25                                 | 0   | 25 |
| 2                          | 実技   | ① 体幹・柔軟性・コーディネーション・持久力・筋力・スピード・アジリティ、他 | 2                                  | 0   | 2  |
|                            |      | ② フリーライディング(基礎)                        | 2                                  | 0   | 2  |
|                            |      |  | ③ マテリアルの適切な選択                      | 1   | 0  |
|                            |      | 計                                      |                                    |     | 5  |
|                            |      |  | 30                                 | 0   | 30 |

※「⑯ジャッジング/コースセッティング」は「SAJ・FIS公認スノーボード審判員研修会/SAJ公認スノーボードセッター研修会」受講をもって修了とする。

平成30年度 SAJ公認 スノーボードC級コーチ養成講習・検定会 スケジュール (予定)

2017/9/19現在

| 講習会         |   |             |   | 検定会         |        |
|-------------|---|-------------|---|-------------|--------|
| 10月31日      |   | 11月1日       |   | 11月2日       |        |
| 火           |   | 水           |   | 木           |        |
| NTC研修室①     |   | NTC研修室①     |   | NTC研修室②     |        |
|             |   | 09:00-10:00 | トレーニング論2<br>・測定評価(フィールドテスト、フィジカル基準値)、トレーニング計画     | 09:00-12:00 | 検定(筆記) |
|             |   | 10:10-11:10 | 体カトレーニング<br>・体幹・柔軟性・コーディネーション・持久力・筋力・スピード・アジリティ、他 |             |        |
| 11:30~      | 受付  |             |   |             |        |
| 12:10-13:10 | スポーツ文化<br>・SAJ-SB部の指導者養成システムについて、文化としてのスポーツ | 11:20-12:20 |   |             |        |
|             |   | ↓           | 休憩  |             |        |
| 13:20-14:20 | 医学知識1<br>・発育発達期に多いケガや病気と対処法                 | 13:20-14:20 | スポーツ心理学<br>・発育発達期における心理的特徴                        |             |        |
| 14:30-15:30 | 医学知識2<br>・救急処置(心肺蘇生法、RICE、緊急時対応法)           | 14:30-15:30 | スポーツ栄養学<br>・発育発達期の栄養                              |             |        |
| 15:40-16:40 | 身体のしくみと運動機能<br>・発育発達期における身体的特徴              | 15:40-16:40 | 安全管理<br>・スポーツ活動と安全管理(個人的要因、環境的要因、競技特性)            |             |        |
| 16:50-17:50 | トレーニング論1<br>・発育発達期のトレーニング                   | 16:50-17:50 | 指導者の役割2<br>・一貫指導システムと競技者育成プログラムの理解                |             |        |
| ↓           | 休憩  | ↓           | 休憩  |             |        |
| 18:50-19:50 | 指導者の役割1<br>・望ましい指導者とは                       | 18:50-19:50 | マネージメント論<br>・目標設定法と指導計画の立て方(グループ、個人、期別)           |             |        |
| 20:00-21:00 | スポーツ科学<br>・スポーツバイオメカニクスの基礎                  | 20:00-21:00 | アンチ・ドーピング<br>・アンチ・ドーピング理念、禁止表、ドーピング防止規則違反         |             |        |

※カリキュラム、スケジュールとも期間内で変更の可能性あり。